

保証書

「メディエア」

商品名・型番			
Medi-Air 1・Y-MA390	Medi-Air 1・Y-MA340		
製造番号			
お買い上げ日			
西暦	年	月	日
保証期間			
お買い上げ日から1年間			
お客様			
お名前	ふりがな	電話番号	
ご住所	〒		
販売店			

この度はメディエアをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この保証書は、本書記載事項に則り、上記に記載された製品の保証をさせていただくことをお約束するものです。本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。お買い上げ日、販売店名の記載がないものは、保証期間内であっても、保証の対象にならない場合があります。必ず、お買い上げ販売店にお申し出いただき、記入してください。

この保証は、日本国内のみ有効です。This warranty policy is valid only in Japan.

お客様の個人情報は、製品のアフターサービスを利用目的としており、取扱に際しては、厳正な管理を行なっております。

■お問い合わせ窓口
横浜ゴム株式会社 エアシートクッションプロジェクト
TEL:0463-35-9681 (受付時間10:00～17:00、土・日・祝日・弊社休業日を除く。) FAX:0463-35-9771
メールアドレス: medi-air@mta.yrc.co.jp ホームページ <http://www.yrc.co.jp/>
©THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. 2012年1月発行 取扱説明書 No. KI-001A PSN YRC ASC



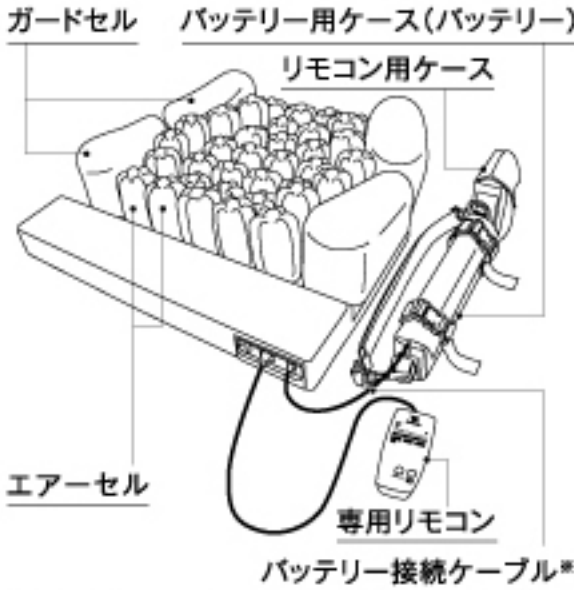
介護保険 福祉用具 貸与 対象品

Medi-Air

車いす用除圧機能付エアースルクッション メディエア 取扱説明書 兼 保証書

ご使用前に この度は、車いす用除圧機能付エアースルクッション「メディエア」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みになり、正しい方法でご使用ください。「メディエア」を貸与または譲渡する場合は、本書を添付してください。「取扱説明書」は、いつでも見られるように大切に保管してください。

III メディエア



※本文の取り付け方法に従って、バッテリー用ケース内に収めてください。
※バッテリー用延長コードは、バッテリーの位置によって必要であれば使用してください。

III 目次

1.セット内容	P.3
2.クッション本体の設置	P.4
3.スイッチ部及び専用リモコン	P.5
4.バッテリーの使用方法	P.6
5.自動空気圧切替運転	P.9
6.お手入れ方法	P.11
7.保管方法 / 8.警告音の内容	P.13
9.故障かなと思ったら	P.14
10. 保証とアフターサービスについて	P.17
11.仕様	P.18

III 安全にお使いいただくために(安全上の注意)

- ご使用前に、この「安全にお使いいただくために(安全上の注意)」をよく読み、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いいただく方や他の人々への危害や損害を未然に防止するものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱により発生することが予想されることを「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容となりますので、必ず守ってご使用ください。

注意

- 本書では、説明のために専用布カバーを未装着状態にしていますが、実際に使用される場合は必ず専用布カバーを装着してご使用ください。専用布カバーを使用しないと十分な機能を得られません。また、専用布カバーの上にタオル等を敷きますと、床ずれ防止効果を低下させますので、ご注意ください。
- エアースルの根本を持つと、エアースルが外れる場合があります。12ページ「6-2 エアースル取付け方法」に従い、取付けてください。

III 危険及び、警告と注意

 **危険** 取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが、想定される危害の程度。

 **警告** 取扱を誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。

 **注意** 取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

傷害とは、治療、入院、長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などを指します。物的損害とは、家屋、家財及び家畜、ペット等にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の意味

注意図記号 	製品の取扱において、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するために用いています。
禁止図記号 	製品の取扱において、その行為を禁止します。
指示図記号 	製品の取扱において、指示に基づく行為を強制します。

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。
次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、ACアダプタをはずし、バッテリーをはずして、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

警告

!	万一、本体から発熱、異臭や異音がする等の異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し販売店の点検を受けてください。
!	医師、理学療法士、作業療法士等の専門家から使用を禁止されている方は、使用しないでください。 医師の治療を受けている、あるいは以下の方は、必ず、医師、理学療法士、作業療法士等の専門家と相談の上使用してください。 ●ペースメーカー等の体内埋め込み型の医療電子機器を装着されている方 ●悪性腫瘍のある方 ●心臓に傷害のある方 ●安静を必要とする方 ●臀部、大腿部等に褥瘡(床ずれ)、創傷等のある方 ●体温38℃以上(有熱期)の方 ●それ以外で身体に特に異常を感じている方 ●お子様 守らないと事故や体調不良を起こす原因となります。
🚫	本製品、ACアダプタ、バッテリーなどの改造、分解、修理は絶対にしないでください。火災、感電、ケガの恐れがあります。
🚫	本製品に水や他の液体をかけたり浸したりしないでください。また、お風呂場などの水のかかりやすい場所や湿気の多い場所では使用しないでください。感電、故障の原因になります。失禁等が想定される場合には、別売りの防水カバーをご使用ください。
🚫	身体が濡れたままでの使用は、絶対におやめください。感電、故障の原因になります。濡れた手で、電源プラグまたはバッテリーの抜き差しは行なわないでください。感電の恐れがあります。 電源コード、延長コード、リモコンコードについて ●傷つけたり、破損させないでください。 ●加工しないでください。 ●無理に曲げたり、ねじったり、引っ張らないでください。 ●使用時は束ねないでください。 ●重いものをのせないでください。 ●車いすの車輪等にコードをからませないでください。 ●指定のバッテリー以外使用しないでください。
	幼児、お子様に、本製品の上で遊ばせたりしないでください。思わぬ事故の可能性があります。
	飛行機内で使用するときは、離着陸時は電源を切ってください。また、機内の指示に従って、電源を切ってください。

		使用中に身体に異常が現れたり、感じたりしたときは、直ちに使用を中止し、医師、理学療法士、作業療法士等に相談してください。
		本製品は、突起物のない平らな座面に置いて使用してください。
		本製品を使用する前には、電源スイッチが正常に作動するか確認してください。 (5ページ、3-1スイッチ部 参照)
		ACアダプタ、バッテリーコード、リモコンコードを抜くときは、コードを持たず必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。電源プラグの水コリなどは、定期的に掃除してください。感電、ショート、発火の恐れがあります。
		お手入れの際、必ず電源プラグまたはバッテリーをはずしてから行なってください。
		ACアダプタを使用している時に停電がおきた場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。再通電の時、事故の原因になります。漏電や火災の原因になります。
		電源コードや電源プラグ、バッテリーコード、リモコンコードが痛んだり、差し込みがゆるい状態で使用しないでください。指定した電源以外で使用しないでください。感電、ショート、発火の原因となります。
		本製品の上に立ったり、踏み台にしたり、重いものをのせないでください。特に、空気が入っていない状態では、クッション内部のセンサー部故障の原因となります。
		クッション本体に衝撃を与えたり、落下させたり、或いはクッションに物を落下させないでください。誤作動やパンクなどの故障の原因となります。
		刃物等で傷つけないでください。故障、火災の原因となります。
		機械油などの油成分が浮遊している場所や化学薬品などの成分が浮遊している場所では使用しないでください。変形、故障、発火の恐れがあります。ベンジン、シンナーなどの化学薬品で拭いたり、殺虫剤などを製品にかけないでください。
		火気の近くでは使用しないでください。また、たばこ等の火気を近付けないでください。本体のゴムは可燃物です。変形、故障、発火の恐れがあります。
		本製品は、車いす一人用クッションです。複数で座ったり、背もたれとして(製品を立てて)使用しないでください。
		本体が汚れた場合は中性洗剤を薄めた液に、布を浸し固く絞ってふきとったのち、真水に浸し固く絞った布でふきとり洗剤を取り除いてください。水洗い、ドライクリーニング、オートクレーブ滅菌、オゾン洗浄等はしないでください。
		油性のローション、化粧液、軟膏、潤滑油、離型剤、治療薬、接着剤などが本体に付かないようにしてください。ゴムを直射日光にあてないでください、ゴムが劣化する恐れがあります。
		長時間使用しない場合は、バッテリーをはずし、直射日光、高温、多湿、火気のある場所を避けて保管してください。クッションの上には、何も置かないでください。
		制御部、スイッチ、バッテリーに水等の液体をこぼさないでください。雨天、降雪時、海岸、水辺では、水滴が機器内部に入らないよう注意してください。
		万一水等でぬらした場合は、直ちに使用を中止し、水分をふき取り、完全に乾燥するまで使用しないでください。異常があった場合は、販売店の点検を受けてください。

1. セット内容



専用布カバー



クッション本体



ウレタンスポンジ
(ウレタン色は写真と異なる場合があります。)



専用リモコン



バッテリー／バッテリー接続ケーブル



バッテリー用延長コード
(実物と異なる場合があります。)



バッテリー／リモコン用ケース



専用充電器



12V ACアダプター
(実物と異なる場合があります。)



取扱説明書 兼 保証書



かんたんガイド



注意

商品到着時に欠品、破損等が無いかご確認ください。欠品、破損があった場合は使用せず、直ちに販売店にご連絡ください。

2. クッション本体の設置

クッション本体は、専用布カバーを装着した状態で、写真①のように設置してください。メディエアに座ったときに電源スイッチは、左側前面にあります。クッション本体の向きは、写真②を参考にしてください。専用布カバーの取っ手部に、「まえ」、「うしろ」の表示をしています。(写真③)



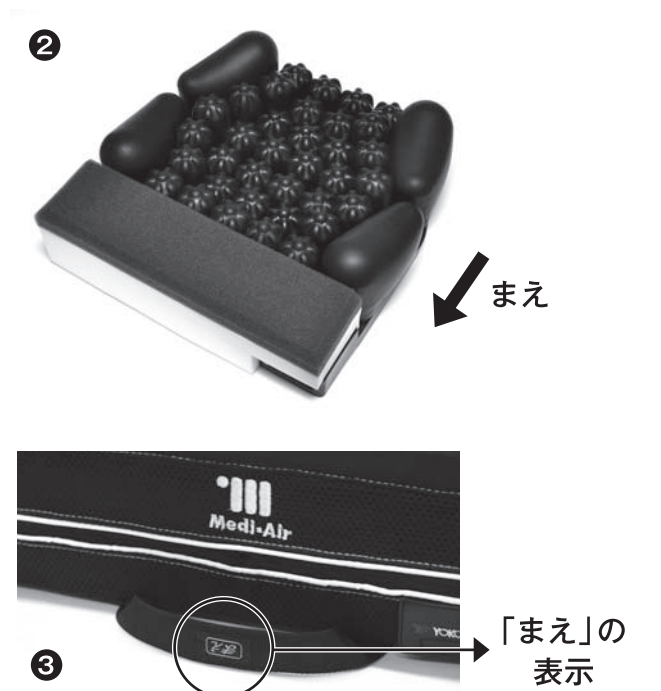
注意

一般的に、車いすにメディエアを設置した場合、座面の高さが変わりますので、ご使用の際は、シート高、フット・レッグサポート、アームサポート、バックサポート等の調整を行なってください。

クッション本体の設置例



クッション本体の向き



※専用布カバーのファスナーは、足に当たらないように側面に回すことをお勧めします。



注意

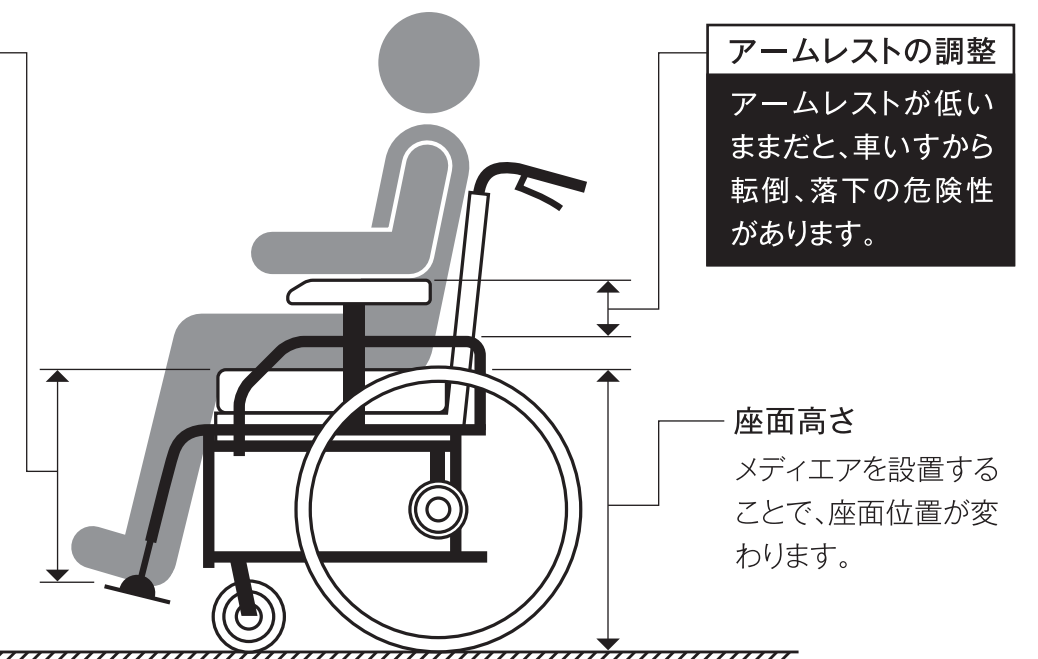
アームレスト、フットレストは、必ず医師、理学療法士、作業療法士等の専門家に確認のうえ調整してください！

フットレストの調整

フットレストが低すぎると、足の位置が安定しなくなり、極端に腿に圧力がかかり疲れの原因となります。フットレストが高すぎると、ずっこけ座りや円背(猫背)になる場合があります。また、膝が高いと血液の循環が悪くなる場合もあります。

アームレストの調整

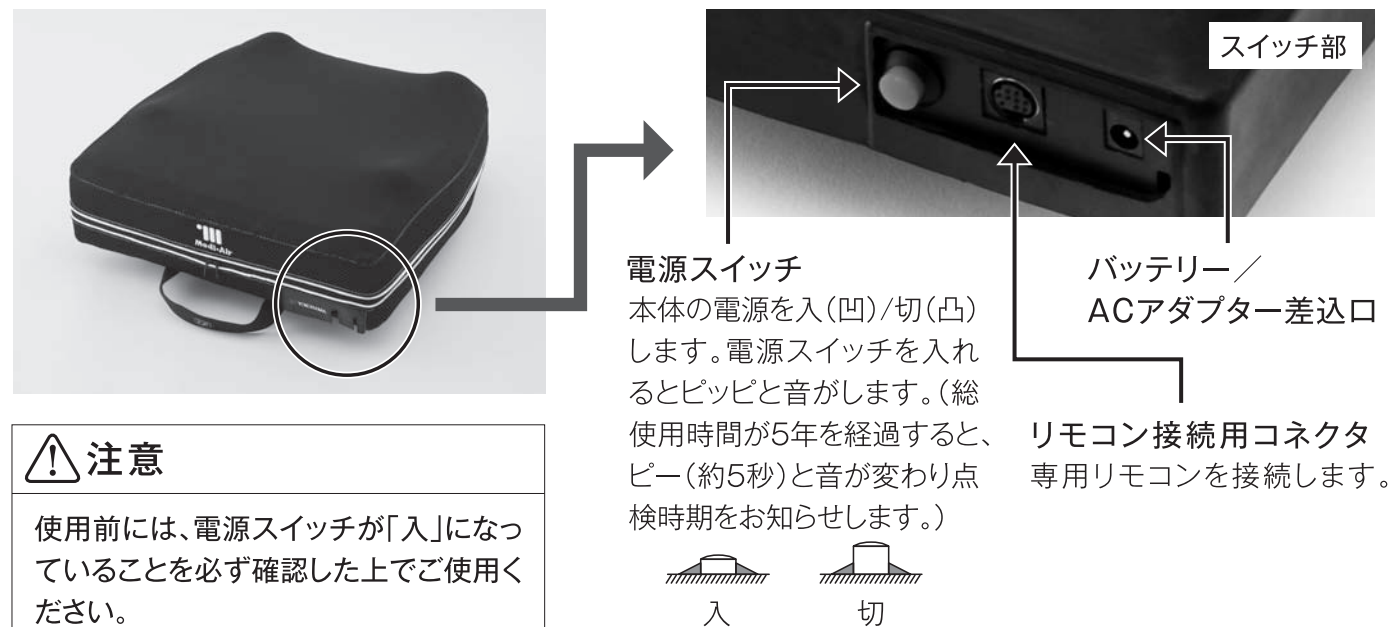
アームレストが低いままだと、車いすから転倒、落下の危険性があります。



座面高さ
メディエアを設置することで、座面位置が変わります。

3. スイッチ部及び専用リモコン

3-1 スイッチ部

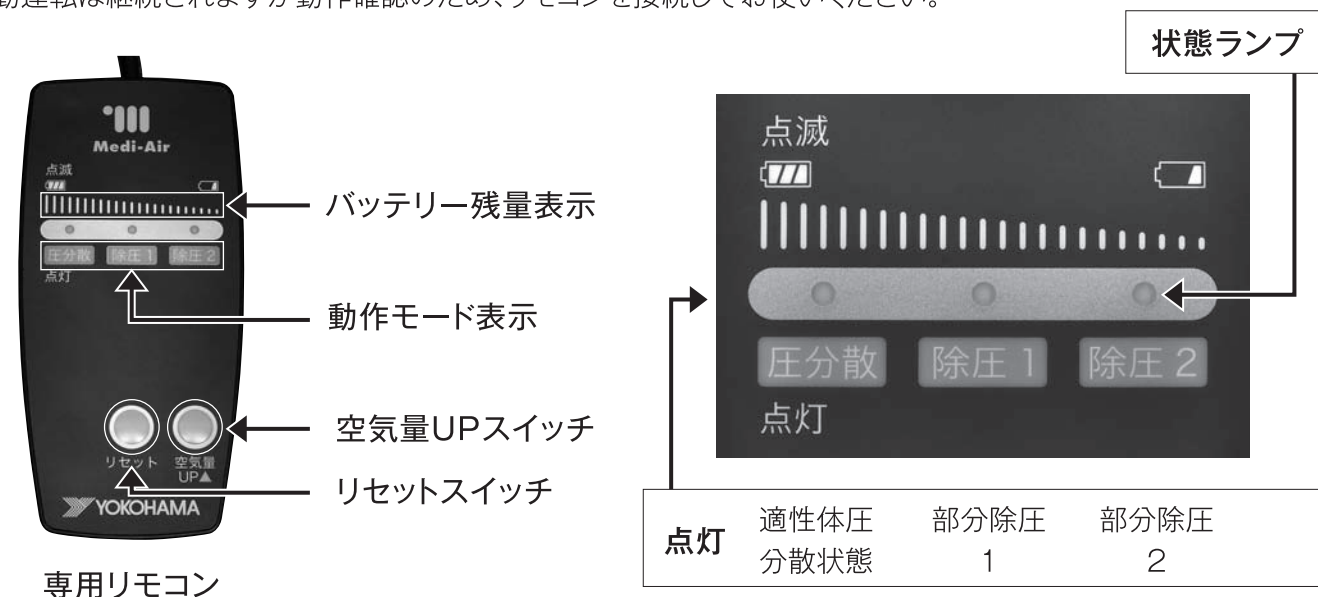


⚠ 注意

使用前には、電源スイッチが「入」になっていることを必ず確認した上でご使用ください。

3-2 専用リモコン

専用リモコンでは、「1 バッテリー残量」確認、「2 動作モード」確認、「3 空気量調整」ができます。バッテリー残量、動作モードに対して状態ランプによりお知らせします。状態ランプは、5秒に1度「点滅」と「点灯」が切り替わります。「点滅」でバッテリー残量、「点灯」で動作モードの状態を表示します。専用リモコンを取りはずしても、クッションの自動運転は継続されますが動作確認のため、リモコンを接続してお使いください。



1 バッテリー残量

圧分散のランプが点滅：バッテリー残量 高
除圧 1 のランプが点滅：バッテリー残量 中
除圧 2 のランプが点滅：バッテリー残量 小

2 動作モード(※P.9、P10参照)

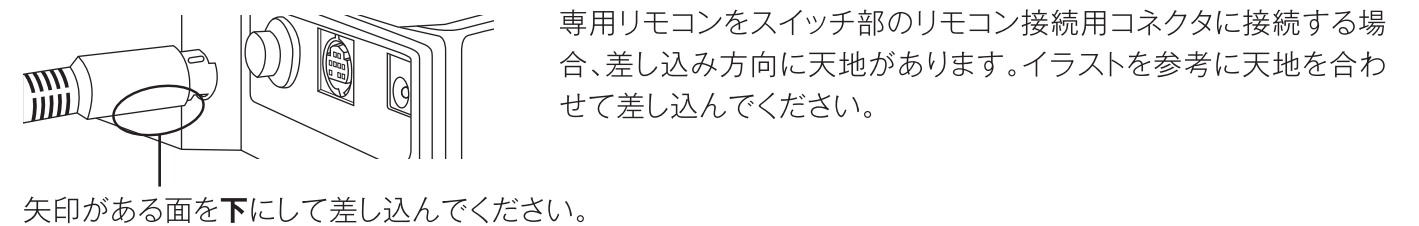
圧分散のランプが点灯：適性体圧分散状態
除圧 1 のランプが点灯：部分除圧 1
除圧 2 のランプが点灯：部分除圧 2

3 空気量調整

空気量UPスイッチを押すと空気を追加封入します。
リセットスイッチを押すと標準空気圧設定に戻ります。

3. スイッチ部及び専用リモコン

3-3 専用リモコンとスイッチ部の接続



4. バッテリー(ジーエスユアサ バッテリー PE12V2)の使用方法

4-1 バッテリー接続方法

⚠ 注意

濡れた手でDCプラグの抜き差しは行わないでください。



バッテリーケーブルの根本部分は、バッテリー用ケースのマジックテープ(ケース内側)で固定してください。

1 バッテリーに貼られている注意書き(黄色いシール)が上になるように、バッテリー用ケースに入れて車いすにセットします。

2 バッテリー接続ケーブルを本体に差し込みます。

3 バッテリーをセットする位置と本体の電源プラグ差込口が離れている場合、付属の延長コードを使用してください。このとき延長コードがタイヤやアームサポート等にはさまれないように注意してください。

※ACアダプターで作動させる場合は付属品を使用してください。

4-2 バッテリー設置例



バッテリーは専用ケースに入れ車いすの肘掛け又は背面シートの裏側などにセットしてください。

4. バッテリー (ジーエスユアサ バッテリー PE12V2) の使用方法

4-3 バッテリー充電方法 (AUTO CRAFT HC12-0.5C)

- 1 電源プラグを家庭用AC100Vコンセントに差し込んでください。
- 2 充電するバッテリーがジーエスユアサ製 型名:PE12V2であることを確認し、充電器のDCプラグをバッテリー接続ケーブルに接続してください。
- 3 電源スイッチをONにしてください。赤ランプ (POWER LED) が点灯し充電が始まります。
- 4 充電が進行すると、緑ランプ (CHARGE UP LED) が点灯します。
- 5 充電が完了すると、赤ランプ (POWER LED) が消灯しますので、電源スイッチをOFFにしてください。ここで充電は終了となります。電源プラグを抜いてください。

※過電、ショート等が原因でブレーカー (NFB) が作動すると、NFノブが飛び出します。ブレーカーが作動した状態のままでは充電が行なえませんので、原因を取り除いた後に、ノブを復帰させて、再度、充電を行なってください。



黄色の注意書きが上になるようにしてください

専用充電器 : AUTO CRAFT (型名:HC12-0.5C)



DCプラグ ブレーカー (NFB) 電源スイッチ 電源プラグ

⚠ 注意

使用上の注意

- ・丁寧に取り扱いってください。
- ・高温、高湿度、振動、腐食性ガス、ほこりの多いところでは使用又は放置しないでください。
- ・水に濡らさないでください。
- ・落下させたり衝撃を与えたり、充電ケーブルを持って、つるして持ち歩く様な事はしないでください。
- ・DCプラグを繋ぐ又は抜く際は、電源スイッチがOFFになっていることをご確認ください。

安全上の注意

- ・この充電器は、屋内専用です。屋内で使用してください。(防水加工はされていません)
- ・ガソリンやシンナー等、引火性のある有機溶剤や可燃ガスの近くでは使用しないでください。
- ・AC100V電源以外の電源を絶対に使用しないでください。
- ・充電器の分解や改造は絶対にしないでください。
- ・他の電池や不良バッテリーの充電には絶対に使用しないでください。

4-4 バッテリー (蓄電池) の取扱注意事項

⚠ 危険

ご使用にあたっての禁止事項

- 火気の近くでは使用しないでください。

⚠ 警告

ご使用にあたっての警告事項

- 蓄電池をトランスなどの発熱部付近で使用したり、炎天下の自動車内、直射日光の強いところ、ストーブの付近、火のそば等の高温の場所で使用したり保管しないでください。蓄電池の温度が上がり、漏液、発熱、爆発の原因となります。
- 蓄電池を分解・改造・破壊しないでください。分解・改造・破壊すると蓄電池の漏液、火災、爆発などの原因となります。
- 蓄電池の充電は、専用充電器使用し、指定の充電条件を守ってください。誤った充電条件で充電すると蓄電池の温度が上がったり、蓄電池から水素ガスが発生して蓄電池の漏液、火災、爆発などの原因となります。
- 蓄電池には内部に希硫酸を保持しています。蓄電池から漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い流してください。また、目に入った時には、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗った後、医師の診断を受けてください。希硫酸が目、皮膚、衣類に付着すると、失明・やけどなどの原因となります。
- 正立から90度を越えて設置しないでください。正立から90度を越えて設置すると蓄電池の漏液、火災、爆発などの原因となります。
- 乾布、はたきがけによる清掃はしないでください。乾布、はたきがけによる清掃を行うと、静電気が発生して爆発の原因となります。清掃は湿った布などで行なってください。
- 蓄電池の電槽は樹脂でできています。このため溶剤・油脂類 (有機溶剤やガソリン・灯油・ベンジン等の石油類等) の付着は、電槽を損傷させる原因となることがありますのでご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたっての注意事項

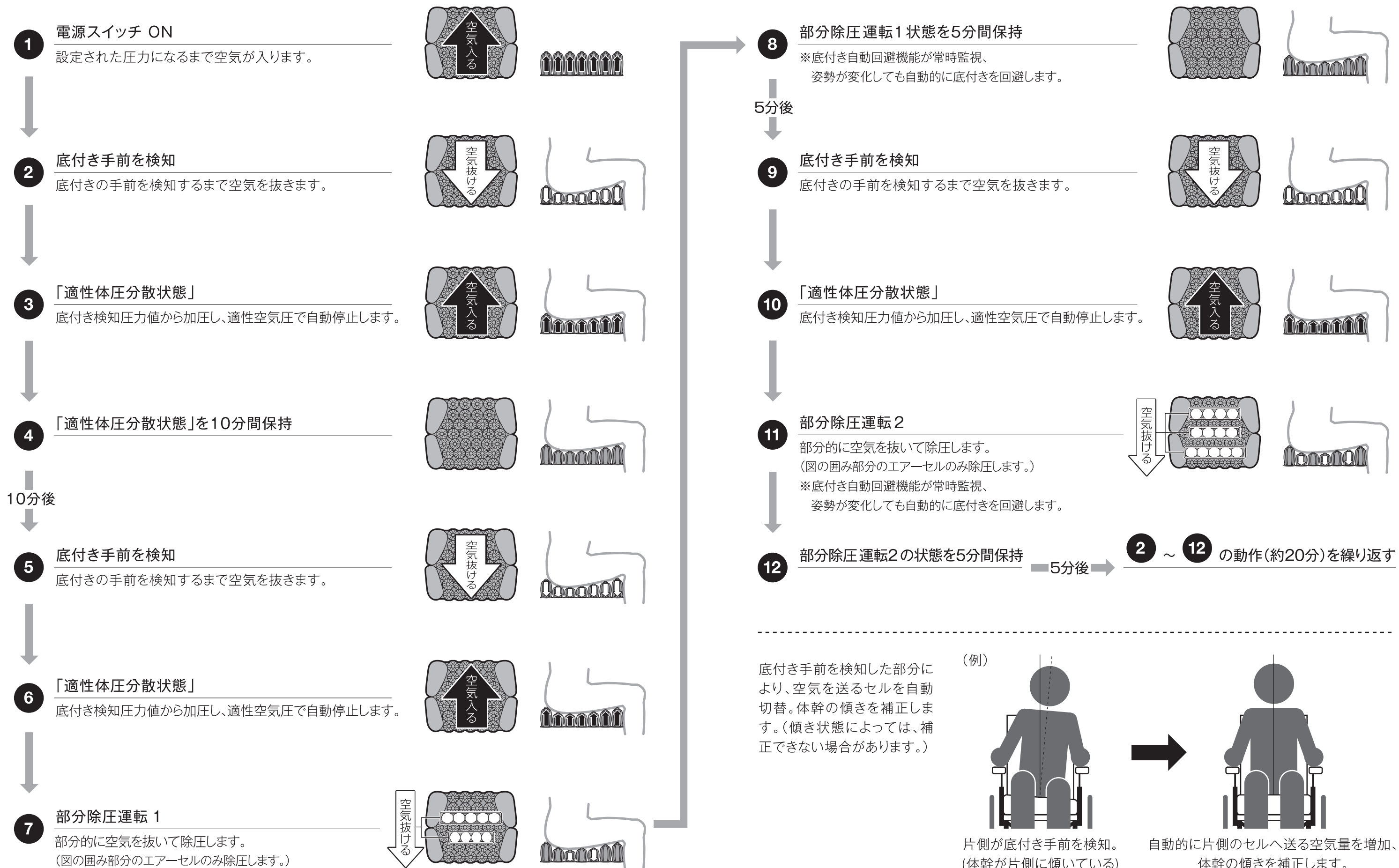
- 蓄電池の使用温度範囲は、次の通りです。この使用範囲以外では、蓄電池の性能及び寿命を著しく低下させると共に、蓄電池の漏液、火災、爆発などの原因になる恐れがあります。
(放電時) -20 ~ +50℃ (充電時) 0 ~ +40℃ (保存時) -20 ~ +40℃
- 蓄電池は指定された用途以外には使用しないでください。指定された用途以外に使用すると蓄電池の漏液、火災、爆発などの原因になる恐れがあります。

リサイクルにご協力を

使用済みの蓄電池はリサイクルします。そのまま廃棄せず販売店又は、市町村の指定する場所にお持ち込みください。使用された方がご自身で廃棄される場合は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の適用を受けるのでご注意ください。なお、処分時には、端子を粘着テープで絶縁してください。使用済み蓄電池でも電気エネルギーが残っていますので端子の絶縁が不十分だと、爆発や火災の原因になる恐れがあります。

5. 自動空気圧切替運転

スタートボタンを押すだけで、センサーとコンピュータ制御によって、全自動で最良の空気圧切替運転を実行します。



6.お手入れ方法

6-1 お手入れ方法(洗浄方法)

[専用布カバー]

専用布カバーをはずします。専用布カバー自体は、手洗いで洗濯する事ができます。詳細の洗濯方法は、専用布カバーについている「絵表示」と「お取り扱い上の御注意」をご確認ください。

[ウレタンスポンジ]

ウレタンスポンジは、水洗いしてください。乾燥は直射日光をさけて陰干ししてください。

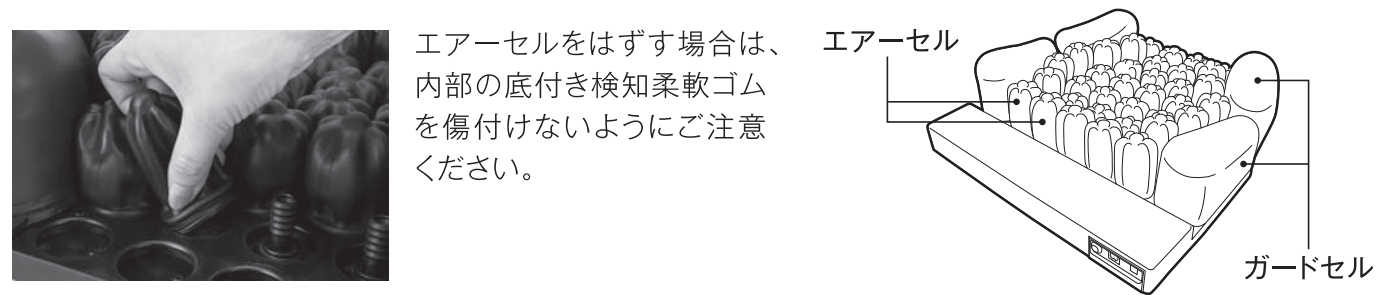
ウレタンは黄色く変色する場合がありますが性能には問題ありません。

[クッション本体]

本体は水を絞った布で軽く拭いてください。薄めた中性洗剤、または、逆性石鹸（濃度2%以下）での拭き掃除は可能ですが、オートクレーブ滅菌、オゾン洗浄はできません。

汚れがひどい場合

エアースセルをはずし、エアースセルのみを水洗いしてください。乾燥は直射日光をさけて陰干ししてください。本体ベース部分は水洗いしないでください。



エアースセルは水洗い可能



本体ベース部分は水洗い洗浄禁止

●本体ベース部分は、底付き手前検知柔軟ゴムを傷つけないように、全体を水を絞った布で拭いてください。



底付き手前検知柔軟ゴム(エアースセル内)



本体ベース部分拭き掃除(例)

●水分が完全に乾いた事を確認し、「12ページ、6-2 エアースセル取付方法」に従ってエアースセルを取付けてください。

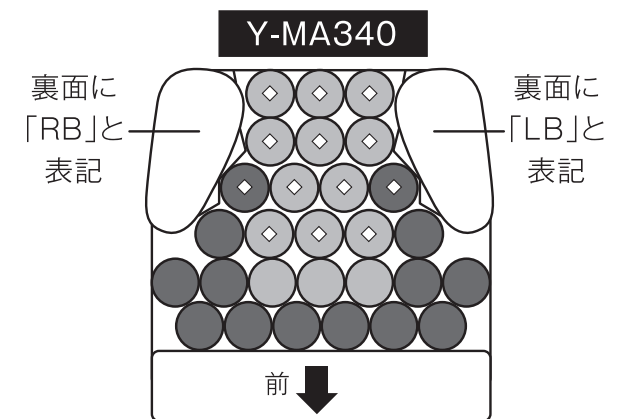
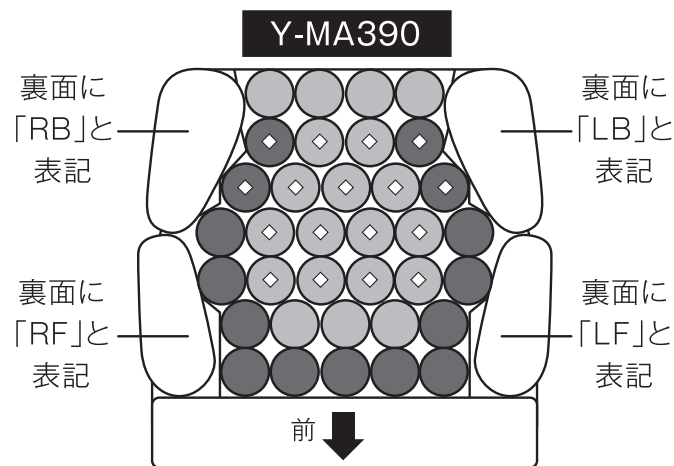
6-2 エアースセル取付方法

エアースセル標準配置

● 100mm
(長いエアースセル)

● 75mm
(短いエアースセル)

◇ 底付き手前検知柔軟ゴム
(底付き検知センサー)



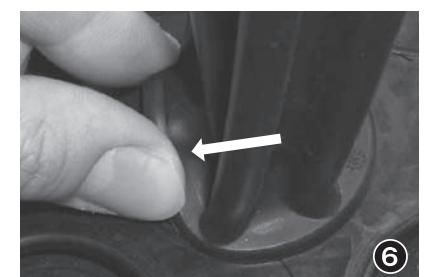
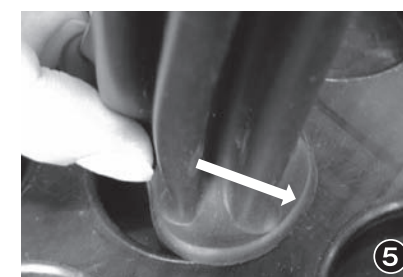
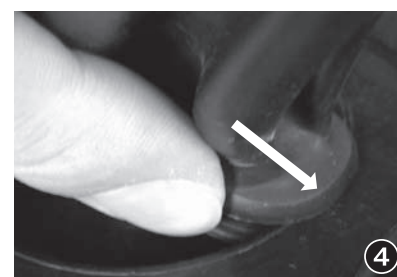
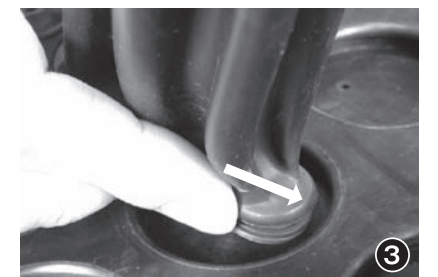
注意

エアースセルの配置を換える場合は、
医師・理学療法士・作業療法士等の専門家に相談してください。

エアースセル取付手順

エアースセルを写真の要領で取付けてください。この時、鋭利な金物などは使用しないでください。

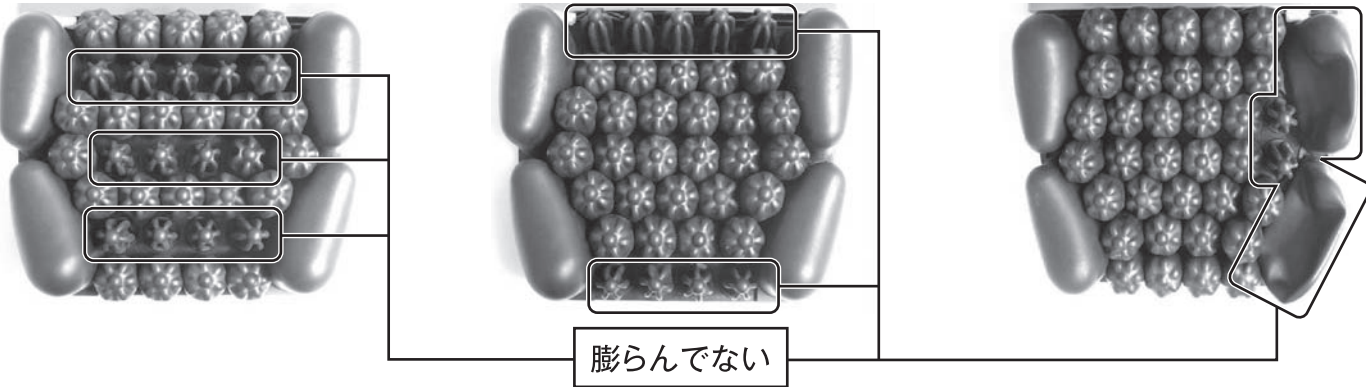
- ・エアースセルの底部を写真のように親指と人指し指で挟み込む。(写真 ① ② 参照)
- ・写真 ① ② の状態のまま、ベース凹部にエアースセルの凸部の先端を差し込む。(写真 ③ ④ 参照)
- ・そのまま矢印の方向にエアースセルを押し付けながら、エアースセルの持ち手を後方にずらす。(写真 ⑤ 参照)
- ・矢印の方向に力を入れ、はまっていない部分を取付ける。(写真 ⑥ 参照)



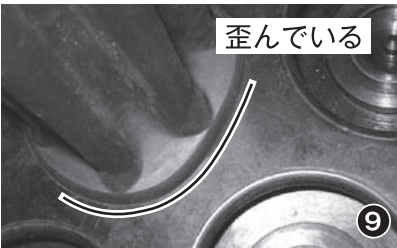
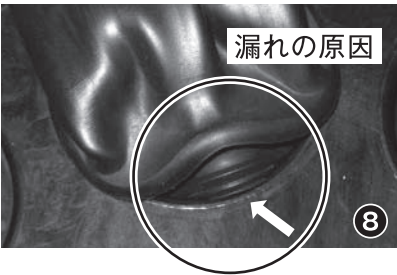
6.お手入れ方法

エアースルの空気漏れ(例)

取付けが完了したら、本体電源スイッチを入れ、エアースルが完全に膨らむことを確認してください。
取付けが不完全な場合、写真の様に、エアースルが膨らみません。
改めてもう一度はめなおし、再度、本体電源スイッチを入れ、エアースルが完全に膨らむことを確認してください。



少しエアースルを斜めにして写真⑦のようにしわがないことを確認してください。
写真⑧や⑨のようにになっている場合は、再度はめ直してください。



7.保管方法

メディエアを長時間使用しない場合は、バッテリーを本体からはずし、直射日光、高温、多湿、火気のある場所を避けて保管してください。
特にクッションの上には何も置かないでください。底付き手前検知柔軟ゴムが変形し、故障の原因になります。

8.警告音の内容

	項目	検出条件	警告音	確認項目
1	低圧異常	ポンプが3分間連続作動し、且つ空気圧力が2kPa以下の場合	ピー	パンク、エアースルの取付け不良
2	高圧異常	空気圧力が10秒間14.4kPa以上の場合		異常荷重
3	底付異常	3分間連続で底付き手前検知センサーが動作している場合		パンク、エアースルの取付け不良
4	充電残量	電池容量がなくなった場合	ピッピッピッ	バッテリー充電

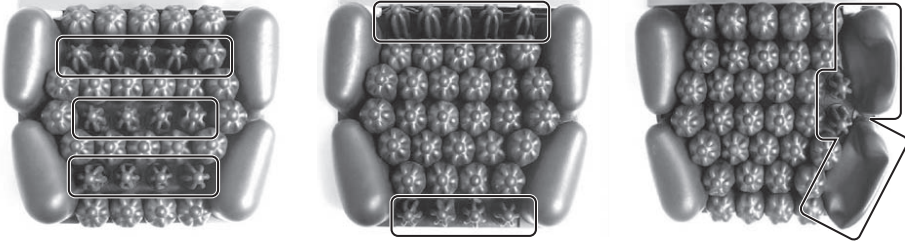
9.故障かなと思ったら

NO.	症状	考えられる原因	処置
1	警告音が鳴る		
1.1	ピッピ		電源スイッチを入れると音が鳴ります。 スイッチが入ったことの確認音です。故障ではありません。
1.2	ピー(約5秒)	点検時期のお知らせ	総使用時間が5年を経過すると、電源スイッチを入れたときの確認音が長くなります。点検時期のお知らせです。
1.3	ピー	異常荷重	座面には、ゆっくりお座りください。体重100kgまで使用可能ですが、90kg以上の方は専門家に相談の上、体圧分散測定を行ない、専門家の指示に従ってください。
1.4	ピー	パンク	2.「空気が抜ける」を参照ください。
1.5	ピッピッピッ 電池残量ランプ 点滅	バッテリー 充電不足	バッテリーを充電してください。7ページ「4-3 バッテリー充電方法」を参照ください。

NO.	症状	処置
2	空気が抜ける	メディエアは、自動的に空気を排出し、座面の圧力を緩和する製品です。 リモコンの点灯ランプが除圧1、除圧2のときは空気を部分的に抜いています。 これは、通常動作です。9ページ「自動空気圧切替運転」を参照ください。 上記以外の場合は、以下の手順に従って点検をしてください。 空気が抜ける ↓ パンク箇所がわかりますか？ ↓ はい いいえ エアースルの場合 12ページ「6-2 エアースル取付方法」に従い、エアースルを交換してください。(エアースルは別売) その他の箇所(ガードセル、本体)の場合、販売店に点検・修理をご依頼ください。 車いすから降りて、クッションに座らずに電源を入れてください。 ↓ 写真のように全体に空気が入ったら電源を切り、そのまま5分間放置してください。 ↓ エアースル・ガードセルがしぼんでいる部分がある。 ↓ はい いいえ 問題ありません。 P.15へ



9.故障かなと思ったら

NO.	症状	処置
2	空気が抜ける	P.14から 写真のように一部分だけ空気が減る。 いいえ 全体または、ガードセルの空気が抜ける場合は、使用を中止して、販売店に点検・修理を依頼してください。 はい  しぼんだエアースルのはめ込み部は、正しく取付けられていますか？点検してください。 はい 販売店に点検・修理を依頼してください。 いいえ 12ページ「6-2 エアースル取付方法」に従い、エアースルを正しく取付けてください。 もう一度、このフローの初めから点検してください。 空気は漏れなくなりましたか？ はい お疲れ様でした。そのままご使用ください。 いいえ 販売店に点検・修理を依頼してください。

NO.	症状	考えられる原因	処置
3	カタカタ音がする	空気流路切替バルブの動作音です。	構造上発生する音です、機能には影響しません。そのままご使用ください。
4	ブーと音がする	空気ポンプの動作音です。	
5	動かない		
5.1	使用中に止まった	—	メディエアは、適性空気圧が自動設定されると、10分間そのままの状態を保持します。その間の空気の出し入れはありません。また、一部分空気を抜いた場合も、5分間その状態を保持します。そのままご使用ください。
5.2	バッテリー使用時	バッテリー充電不足	・バッテリーが正しく取付けられていますか？ ・指定の電池を使用していますか？ 指定電池を使用しないと、動作しない場合があります。 ・バッテリーを再充電してください。 ・バッテリーの充電回数は、個体差があります。充電しても当初の駆動時間より著しく短くなった場合は、指定のバッテリーに交換してください。 動作時間：通常動作条件で約10時間 充電時間：標準約9時間（目安） 充電回数：約200～250回
5.3	ACアダプター使用時	ACアダプターが本体からはずれている。 ACアダプターがコンセントからはずれている。	正しくACアダプターを取付けてください。 上記の処置を行なっても症状が変わらない場合は、使用を中止し、ACアダプターをはずし、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
6	座面に、水・液体がかかった。	—	電源を切り、専用布カバーをはずしてください。 → 11ページ「6-1 お手入れ方法」に従い、清掃してください。

※エアースルがパンクしている場合は、パッチ修理等は行わず、新品のエアースルと交換してください。

10.保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）

10-1 保証書

保証書に所定の事項をご記入の上、大切に保管してください。特に、お買い上げ日、販売店名の記載がないものは、保証期間内であっても、保証の対象にならない場合があります。

10-2 保証期間

お買い上げ日より1年間となります。専用布カバー、バッテリー（鉛蓄電池）、ウレタンスポンジは、保証の適用外とさせていただきます。ただし、未使用時で製造上や輸送中に発生したもののと思われるものは、保証の対象となります。

取扱説明書に則り、正常な使用において故障した場合は、保証書をご提示いただき、販売店あるいは弊社に修理をご依頼ください。無償にて修理させていただきます。弊社が修理困難と判断した場合は、交換させていただきます。修理したにもかかわらず修理完了後3ヶ月以内に同一箇所、同一故障が発生した場合は、保証期間に関わらず無償にて修理させていただきます。

保証期間内であっても二次的に発生する損失の補償は、無償修理の対象外とさせていただきます。

10-3 保証の適用除外となる場合

- (ア) 通常のご使用による消耗および、取扱不注意による破損、
取扱説明書に従わない使用方法をしたと判断された場合。 例) 専用布カバーの磨耗、破損
- (イ) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失、破損。
- (ウ) 不注意、故意、または過失など誤って使用されたことによる破損。
- (エ) 保管上の不備、および弊社以外で行なった修理や改造等による破損。

10-4 有償修理

お客様の希望があり、且つ修理によって商品の機能が維持できる場合に限り、有償にて修理を承ります。

10-5 補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本製品の補修用性能部品の原則製造打ち切り後5年間保有いたします。性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
ただし、上記期間内であっても、代用部品を使用して修理する場合がありますのでご了承ください。

10-6 その他

ご使用中に普段と変わった状態になった場合、直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理をご依頼ください。

11.仕様

商品名・型番	Medi-Air 1 ・ Y-MA390	Medi-Air 1 ・ Y-MA340
外形寸法(単位:mm)	幅約390×奥行約400×高さ約110	幅約340×奥行約352×高さ約110
エアーセル	材質:エラストマー サイズ(単位:mm):直径約48×高さ約75、直径約48×高さ約100	
ガードセル	材質:エラストマー サイズ(単位:mm):幅約70×高さ約100	
本体ベース	材質:エラストマー	
制御部ケーシング	材質:ステンレス	
電源	●バッテリー:鉛蓄電池 12V 2AH (ジーエスユアサ 型名:PE12V2) バッテリー質量:約800g 動作時間:通常動作条件で約10時間 充電時間:標準約9時間(目安) 充電回数(電池寿命):約200~250回 ※使用状況により、動作時間、電池寿命は異なります。 ●ACアダプター:12V 2A	
クッション本体質量	約4.4kg	約3.4kg
専用布カバー	材質:伸縮性合成繊維(座面:抗菌防臭加工)	
リモコン(単位:mm)	幅約48×長さ約100×厚み約17 ケーブル 長さ約500	
専用充電器(単位:mm)	幅約80×長さ約140×高さ約65 ACケーブル 長さ約1.7m DCケーブル 長さ約1.1m	

オプション

失禁対応カバー	材質:防水材コーティング伸縮性合成繊維(座面:抗菌防臭加工)
エアーセル	高さ約75mm、高さ約100mm
ガードセル	右前用(RF)、左前用(LF)、右後用(RB)、左後用(LB)、
バッテリー	鉛蓄電池 メーカー:(株)ジーエスユアサ 型名:PE12V2